

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年8月6日 |
| 【四半期会計期間】 | 第109期第1四半期（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社大林組 |
| 【英訳名】 | OBAYASHI CORPORATION |
| 【代表者の役職氏名】 | 取締役社長 白石 達 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区港南2丁目15番2号 |
| 【電話番号】 | 03(5769)1017 |
| 【事務連絡者氏名】 | 経理部長 宮澤 英敏 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区港南2丁目15番2号 |
| 【電話番号】 | 03(5769)1017 |
| 【事務連絡者氏名】 | 経理部長 宮澤 英敏 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大林組横浜支店 （横浜市神奈川区鶴屋町2丁目23番地2） 株式会社大林組名古屋支店 （名古屋市東区東桜1丁目10番19号） 株式会社大林組大阪本店 （大阪市中央区北浜東4番33号） 株式会社大林組神戸支店 （神戸市中央区加納町4丁目4番17号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神2丁目14番2号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第108期 第1四半期 連結累計期間 | 第109期 第1四半期 連結累計期間 | 第108期 |
|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成23年 4月1日 至 平成23年 6月30日 | 自 平成24年 4月1日 至 平成24年 6月30日 | 自 平成23年 4月1日 至 平成24年 3月31日 |
| 売上高 (百万円) | 244,092 | 297,106 | 1,245,772 |
| 経常利益 (百万円) | 1,185 | 3,022 | 35,241 |
| 四半期(当期)純利益 (百万円) | 10,307 | 2,040 | 5,142 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 10,369 | △12,079 | 20,264 |
| 純資産額 (百万円) | 358,518 | 350,380 | 365,492 |
| 総資産額 (百万円) | 1,509,245 | 1,580,126 | 1,618,748 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 14.34 | 2.84 | 7.16 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | — | — | — |
| 自己資本比率 (%) | 22.1 | 20.5 | 21.0 |

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。
- 2 売上高には消費税等は含まれていない。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

2【事業の内容】

当社グループは、当社及び子会社86社、関連会社27社で構成され、その主な事業内容は、建設事業（国内土木事業、海外土木事業、国内建築事業及び海外建築事業）及び不動産事業であり、さらに各々に付帯する事業を行っている。

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はない。また、主要な関係会社に異動はない。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはない。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はない。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）における当社グループの連結業績については、売上高は当社及び子会社の建設事業売上高の増加などにより、前年同四半期比21.7%増の約2,971億円となった。利益の面では、建設事業売上高の増加に伴う完成工事総利益の増加や子会社における不動産事業等総利益の増加などにより、営業利益は前年同四半期比693.6%増の約29億円、経常利益は前年同四半期比154.9%増の約30億円となった。一方、四半期純利益は前年同四半期に投資有価証券売却益を約141億円計上した反動減などから、前年同四半期比80.2%減の約20億円となった。

なお、当社グループの売上高の大部分を占める完成工事高は、その計上時期が第4四半期連結会計期間に偏る傾向があり、第2四半期連結累計期間、特に第1四半期連結会計期間の計上額が相対的に少なくなる。一方、販売費及び一般管理費は時期にかかわらず定常的に発生するため、第1四半期連結累計期間の業績は、売上高に対する販売費及び一般管理費の負担が大きくなるという季節的要因の影響を受けることになる。

セグメント情報

| | |
|----------|---|
| (国内土木事業) | 売上高は前年同四半期比31.7%増の約560億円、営業損益は約4億円の損失（前年同四半期は約16億円の損失）となった。 |
| (海外土木事業) | 売上高は前年同四半期比8.4%増の約76億円、営業損益は約5億円の損失（前年同四半期は約19億円の損失）となった。 |
| (国内建築事業) | 売上高は前年同四半期比16.4%増の約1,693億円、営業損益は約8億円の利益（前年同四半期は約16億円の利益）となった。 |
| (海外建築事業) | 売上高は前年同四半期比32.1%増の約402億円、営業損益は約5億円の利益（前年同四半期は約10億円の利益）となった。 |
| (不動産事業) | 売上高は前年同四半期比81.8%増の約126億円、営業損益は約20億円の利益（前年同四半期は約7億円の利益）となった。 |
| (その他) | 売上高は前年同四半期比3.5%減の約111億円、営業損益は約4億円の利益（前年同四半期は約4億円の利益）となった。 |

※ セグメント情報の詳細は、第4 経理の状況 を参照

(2) 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、「受取手形・完成工事未収入金等」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて約386億円（2.4%）減の約1兆5,801億円となった。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、「支払手形・工事未払金等」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて約235億円（1.9%）減の約1兆2,297億円となった。なお、当第1四半期連結会計期間末の有利子負債残高は、前連結会計年度末に比べて約30億円（0.7%）減の約4,020億円となった。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、投資有価証券の時価評価に伴い「その他有価証券評価差額金」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて約151億円（4.1%）減の約3,503億円となった。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末より0.5ポイント低い20.5%となった。

(3) 研究開発活動

当社グループの当第1四半期連結累計期間における研究開発に要した費用の総額は、約18億円である。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

| 種 類 | 発行可能株式総数 (株) |
|------|---------------|
| 普通株式 | 1,224,335,000 |
| 計 | 1,224,335,000 |

②【発行済株式】

| 種 類 | 第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成24年8月6日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内 容 |
|------|--|----------------------------|---|---|
| 普通株式 | 721,509,646 | 721,509,646 | 東京証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部) 福岡証券取引所 | 権利内容に何ら 限定のない当社 における標準と なる株式であ り、単元株式数 は1,000株であ る。 |
| 計 | 721,509,646 | 721,509,646 | — | — |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項なし。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項なし。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年 月 日 | 発行済株式総数 | | 資 本 金 | | 資本準備金 | | 摘 要 |
|--------------------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----|
| | 増減数 (千株) | 残 高 (千株) | 増減額 (百万円) | 残 高 (百万円) | 増減額 (百万円) | 残 高 (百万円) | |
| 平成24年4月1日～ 平成24年6月30日 | — | 721,509 | — | 57,752 | — | 41,694 | — |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はない。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしている。

① 【発行済株式】

平成24年3月31日現在

| 区 分 | 株式数 (株) | 議決権の数 (個) | 内 容 |
|-----------------|----------------------------|-----------|--------------------|
| 無議決権株式 | — | — | — |
| 議決権制限株式 (自己株式等) | — | — | — |
| 議決権制限株式 (その他) | — | — | — |
| 完全議決権株式 (自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 3,244,000 | — | 単元株式数1,000株 |
| 完全議決権株式 (その他) | 普通株式 715,266,000 | 715,266 | 単元株式数1,000株 |
| 単元未満株式 | 普通株式 2,999,646 | — | 一単元 (1,000株) 未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 721,509,646 | — | — |
| 総株主の議決権 | — | 715,266 | — |

(注) 「完全議決権株式 (その他)」には、株主名簿上は当社名義となっているが実質的に所有していない株式1,000株 (議決権1個) が含まれている。

② 【自己株式等】

平成24年3月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数 (株) | 他人名義所有 株式数 (株) | 所有株式数の 合計 (株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%) |
|---------------------|---------------------|-------------------|-------------------|------------------|---------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社大林組 | 東京都港区港南 2丁目15番2号 | 3,244,000 | — | 3,244,000 | 0.45 |
| 計 | — | 3,244,000 | — | 3,244,000 | 0.45 |

(注) このほか、株主名簿上は当社名義となっているが、実質的に所有していない株式が1,000株 (議決権1個) ある。なお、当該株式数は、上記「①発行済株式」の「完全議決権株式 (その他)」の中に含まれている。

2 【役員】の状況】

該当事項なし。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載している。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けている。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|--------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | 121,714 | 124,493 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 486,544 | 438,997 |
| 有価証券 | 2,783 | 2,815 |
| 販売用不動産 | 40,841 | 41,078 |
| 未成工事支出金 | 48,251 | 64,019 |
| 不動産事業支出金 | 15,093 | 12,584 |
| P F I 等たな卸資産 | 65,607 | 59,958 |
| その他のたな卸資産 | 5,393 | 5,740 |
| 繰延税金資産 | 18,381 | 21,825 |
| 未収入金 | 73,192 | 71,396 |
| その他 | 11,222 | 14,822 |
| 貸倒引当金 | △744 | △661 |
| 流動資産合計 | 888,282 | 857,070 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物・構築物（純額） | 78,371 | 78,940 |
| 機械・運搬具及び工具器具備品（純額） | 8,493 | 8,354 |
| 土地 | 261,799 | 270,672 |
| リース資産（純額） | 607 | 537 |
| 建設仮勘定 | 8,915 | 13,290 |
| 有形固定資産合計 | 358,186 | 371,794 |
| 無形固定資産 | 6,046 | 5,724 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 264,365 | 240,795 |
| 長期貸付金 | 3,460 | 3,435 |
| 繰延税金資産 | 39,854 | 45,962 |
| その他 | 63,240 | 59,949 |
| 貸倒引当金 | △4,699 | △4,618 |
| 投資その他の資産合計 | 366,221 | 345,524 |
| 固定資産合計 | 730,454 | 723,043 |
| 繰延資産 | 11 | 12 |
| 資産合計 | 1,618,748 | 1,580,126 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|----------------------------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 525,536 | 487,157 |
| 短期借入金 | 132,514 | 128,694 |
| 1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイ ナンス・ローン | ※2 10,676 | ※2 7,520 |
| 1年内償還予定の社債 | — | 10,000 |
| リース債務 | 320 | 272 |
| 未払法人税等 | 2,391 | 981 |
| 繰延税金負債 | 463 | 439 |
| 未成工事受入金 | 62,250 | 73,401 |
| 預り金 | 69,334 | 70,662 |
| 完成工事補償引当金 | 2,642 | 2,727 |
| 工事損失引当金 | 7,374 | 6,677 |
| その他 | 65,109 | 70,015 |
| 流動負債合計 | 878,616 | 858,549 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 60,000 | 60,000 |
| 長期借入金 | 128,284 | 125,617 |
| PFI等プロジェクトファイナンス・ローン | ※2 73,639 | ※2 70,253 |
| リース債務 | 225 | 202 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 29,786 | 29,781 |
| 退職給付引当金 | 63,329 | 64,199 |
| 環境対策引当金 | 1,032 | 1,032 |
| その他 | 18,341 | 20,110 |
| 固定負債合計 | 374,639 | 371,197 |
| 負債合計 | 1,253,255 | 1,229,746 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 57,752 | 57,752 |
| 資本剰余金 | 41,750 | 41,750 |
| 利益剰余金 | 152,278 | 151,455 |
| 自己株式 | △1,530 | △1,535 |
| 株主資本合計 | 250,251 | 249,422 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 72,198 | 56,499 |
| 繰延ヘッジ損益 | △143 | △163 |
| 土地再評価差額金 | 23,302 | 23,292 |
| 為替換算調整勘定 | △5,145 | △5,560 |
| その他の包括利益累計額合計 | 90,212 | 74,068 |
| 少数株主持分 | 25,028 | 26,888 |
| 純資産合計 | 365,492 | 350,380 |
| 負債純資産合計 | 1,618,748 | 1,580,126 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 売上高 | | |
| 完成工事高 | 225,564 | 273,307 |
| 不動産事業等売上高 | 18,527 | 23,798 |
| 売上高合計 | 244,092 | 297,106 |
| 売上原価 | | |
| 完成工事原価 | 208,784 | 255,439 |
| 不動産事業等売上原価 | 14,884 | 18,883 |
| 売上原価合計 | 223,668 | 274,323 |
| 売上総利益 | | |
| 完成工事総利益 | 16,780 | 17,867 |
| 不動産事業等総利益 | 3,643 | 4,915 |
| 売上総利益合計 | 20,424 | 22,783 |
| 販売費及び一般管理費 | 20,055 | 19,859 |
| 営業利益 | 368 | 2,923 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 377 | 639 |
| 受取配当金 | 2,016 | 1,952 |
| その他 | 163 | 172 |
| 営業外収益合計 | 2,557 | 2,764 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,005 | 906 |
| 為替差損 | 641 | 1,525 |
| その他 | 92 | 235 |
| 営業外費用合計 | 1,740 | 2,666 |
| 経常利益 | 1,185 | 3,022 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 14,109 | 11 |
| その他 | 973 | 213 |
| 特別利益合計 | 15,082 | 224 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 28 | 453 |
| 震災復旧支援費用 | 522 | — |
| その他 | 268 | 141 |
| 特別損失合計 | 819 | 594 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 15,448 | 2,652 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 547 | 1,212 |
| 法人税等調整額 | 4,827 | △775 |
| 法人税等合計 | 5,374 | 437 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 10,074 | 2,215 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | △233 | 175 |
| 四半期純利益 | 10,307 | 2,040 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 10,074 | 2,215 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 97 | △15,707 |
| 繰延ヘッジ損益 | △155 | △19 |
| 為替換算調整勘定 | 341 | 1,408 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 10 | 23 |
| その他の包括利益合計 | 295 | △14,294 |
| 四半期包括利益 | 10,369 | △12,079 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 10,355 | △14,093 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 13 | 2,014 |

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

| |
|---|
| 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) |
| (1) 連結の範囲の重要な変更 該当事項なし。 |
| (2) 持分法適用の範囲の重要な変更 該当事項なし。 |

【会計方針の変更等】

| |
|---|
| 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) |
| (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更している。 なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微である。 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

下記の会社等の借入金について保証を行っている。

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | | 当第1四半期 連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|------------|-------------------------|------------|----------------------------------|
| 従業員住宅購入借入金 | 666百万円 | 従業員住宅購入借入金 | 630百万円 |
| その他 | 451 | その他 | 456 |
| 計 | 1,118 | 計 | 1,086 |

なお、上記金額は他社分担保保証額を除いた当社及び連結子会社の保証債務額を記載している。

※2 「1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイナンス・ローン」及び「PFI等プロジェクトファイナンス・ローン」は、連結子会社でPFI事業又は不動産事業における特別目的会社が、当該PFI事業又は不動産事業を担保とするノンリコースローンとして金融機関等から調達した借入金である。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりである。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 2,876百万円 | 2,474百万円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|------------------|----------------|----------------|-------|
| 平成23年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 2,874 | 4 | 平成23年 3月31日 | 平成23年 6月29日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|------------------|----------------|----------------|-------|
| 平成24年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 2,873 | 4 | 平成24年 3月31日 | 平成24年 6月29日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注1) | 合計 |
|---------------------------------------|----------|----------|----------|----------|-------|---------|-------------|---------|
| | 国内 土木 | 海外 土木 | 国内 建築 | 海外 建築 | 不動産 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 42,557 | 7,049 | 145,477 | 30,479 | 6,940 | 232,505 | 11,587 | 244,092 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 2,278 | — | 9,274 | 7 | 473 | 12,033 | 1,964 | 13,998 |
| セグメント売上高 | 44,836 | 7,049 | 154,751 | 30,486 | 7,414 | 244,538 | 13,551 | 258,090 |
| 営業利益又は営業損失 | | | | | | | | |
| 外部顧客売上高に対応する 営業利益又は営業損失(△) (注2) | △1,620 | △1,937 | 1,672 | 1,077 | 734 | △73 | 441 | 368 |
| セグメント間の 内部営業利益又は振替高 | △245 | △0 | △141 | — | △0 | △387 | — | △387 |
| セグメント利益又は損失(△) | △1,866 | △1,938 | 1,531 | 1,077 | 734 | △460 | 441 | △19 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PFI事業、金融事業及びゴルフ場事業等を含んでいる。

2 「外部顧客売上高に対応する営業利益又は営業損失」は、「セグメント利益又は損失」から「セグメント間の内部営業利益又は振替高」を控除した金額であり、「外部顧客売上高に対応する営業利益又は営業損失」の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注1) | 合計 |
|---------------------------------------|----------|----------|----------|----------|--------|---------|-------------|---------|
| | 国内 土木 | 海外 土木 | 国内 建築 | 海外 建築 | 不動産 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 56,052 | 7,644 | 169,360 | 40,250 | 12,616 | 285,923 | 11,182 | 297,106 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 2,760 | — | 10,534 | 5 | 482 | 13,782 | 2,105 | 15,888 |
| セグメント売上高 | 58,812 | 7,644 | 179,895 | 40,255 | 13,098 | 299,706 | 13,288 | 312,994 |
| 営業利益又は営業損失 | | | | | | | | |
| 外部顧客売上高に対応する 営業利益又は営業損失(△) (注2) | △489 | △549 | 869 | 563 | 2,080 | 2,474 | 449 | 2,923 |
| セグメント間の 内部営業利益又は振替高 | △250 | △0 | △504 | — | △0 | △756 | △0 | △756 |
| セグメント利益又は損失(△) | △740 | △549 | 364 | 563 | 2,079 | 1,718 | 449 | 2,167 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PFI事業、金融事業及びゴルフ場事業等を含んでいる。

2 「外部顧客売上高に対応する営業利益又は営業損失」は、「セグメント利益又は損失」から「セグメント間の内部営業利益又は振替高」を控除した金額であり、「外部顧客売上高に対応する営業利益又は営業損失」の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

| 利益又は損失 | 前第1四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日） |
|-----------------|---|---|
| 報告セグメント計 | △460 | 1,718 |
| 「その他」の区分の利益 | 441 | 449 |
| セグメント間取引消去 | 387 | 756 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 368 | 2,923 |

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日） |
|----------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 14円34銭 | 2円84銭 |
| （算定上の基礎） | | |
| 四半期純利益金額（百万円） | 10,307 | 2,040 |
| 普通株主に帰属しない金額（百万円） | — | — |
| 普通株式に係る四半期純利益金額（百万円） | 10,307 | 2,040 |
| 普通株式の期中平均株式数（千株） | 718,562 | 718,255 |

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

（重要な後発事象）

該当事項なし。

2【その他】

該当事項なし。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月6日

株式会社 大林組

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 坂本 満夫 ⑩

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 諏訪 部 修 ⑩

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 福田 悟 ⑩

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社大林組の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社大林組及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管している。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていない。